

復興ありがとうホストタウン（第18次）自治体について

令和3年8月10日

自治体 (相手国等)	受けた支援の概要	取り組もうとする事業の概要
岩手県遠野市 (ブラジル)	<ul style="list-style-type: none"> 本市においては、東日本大震災時、住宅や公共施設等の建物被害をはじめ、ライフラインやインフラ施設などに大きな被害を受けたが、それと同時に、県内沿岸被災市町村へのボランティア派遣や自衛隊、警察、消防隊の集結、食料や衣類等の物資搬送など、後方支援拠点として人、モノ、情報が集積し、震災復興に携わることとなった。また、沿岸被災市町村から多くの方が避難され、一定期間本市での生活を余儀なくされた方もいた。 震災後、ブラジルから義援金が日本へ贈られた。義援金は日本赤十字社を通じ、避難者の方を中心に、家電支給や灯油購入などの生活支援に充てられ、暮らしに対する不安の軽減につながった。 ブラジル岩手県人会の皆様からも、震災以降、岩手県に対し、激励や義援金など多大なる支援をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市での大会直前合宿は中止となったが、他市での合宿中や大会期間中、オンラインによる代表チームとの交流を実施する。 大使館職員や在日ブラジル人の方々を招待し、ブラジルについて、スポーツのみならず言語・文化・歴史など広く理解を深める交流を行う。 大会前から大会中、そして大会後の交流を通し、日本の復興を応援していただいたブラジルに感謝の思いを伝えつつ、両国の相互交流が今後更に活発になるよう、末永い交流を続けていく。 <p>※2019年7月、パラリンピック競技5人制サッカーの代表チームの事前合宿を誘致。事前合宿では公開練習のほか、学校訪問、パラスポーツ体験会、交流会などにより市民との交流を実施した。</p> <p>※大会延期決定以降は、小中高校生をはじめ市民が、ブラジルとの交流を絶やさないよう、手紙の送付や応援メッセージの発信に取り組んできた。</p>

この登録により、登録数：462件、自治体数：533、相手国・地域：185となる。

(復興ありがとうホストタウンの登録数は、33件(33自治体)となる。)